

第22回社会福祉実践家のための臨床理論・技術研修会

ソーシャルワーク実践とアセスメント ～実践の科学化をめざして～

2008年11月15日(土) 10:00～17:00

明治学院大学社会学部付属研究所主催

基調講演 10:00～12:00

ソーシャルワーク実践とアセスメント

ーエビデンス・ベースド・プラクティスとの関連から考える

講師：佐藤 豊道 (東洋大学 教授)

*基調講演のみの参加も受け付けます(基調講演オープン参加)。

◆◆◆・・・研修会ご案内・・・◆◆◆

相談援助を業とする社会福祉士制度が発足して20年が経過しました。ソーシャルワークと呼称しない社会福祉援助技術は、この間、わが国におけるソーシャルワーカーの業務に豊かな独自性や専門性を付与できる貢献を果たすことができたのでしょうか。エビデンス・ベースド・プラクティスなる思考の枠組みにコミットできる実践の成果を十分に蓄積できたと言えるのでしょうか。ソーシャルワーカー業務の独自性を発揮できる機能の一つにアセスメントがありますが、その取り組み過程を通じて、ソーシャルワーカー「らしさ」を醸し出すに相応しい支援を利用者・当事者と協働しながら展開できる実践力を持ち合わせることができるようになったのでしょうか。ここで、あらためてソーシャルワーカー「らしさ」を醸し出すアセスメントの方法を検証しながら、我々の業務の独自性なり専門性について考える機会としてみたいと思います。(開催要項は3ページに掲載)

<基調講演講師：佐藤 豊道(さとう・とよみち)先生のプロフィール>

略歴：1946年青森県生まれ

1978年東洋大学大学院社会学研究科社会学専攻博士課程所定単位取得終了

2001年社会福祉学博士(東洋大学)

専門：ソーシャルワーク論(社会福祉方法論、社会福祉援助技術論)

主著：『介護福祉』有斐閣(共編著)、『ジェネラリスト・ソーシャルワーク研究』川島書店、『社会福祉援助技術論』建帛社(共編著)、『社会福祉援助技術論 上・下』川島書店(共編著)

ワークショップ 13:00~17:00

ソーシャルワーク実践における アセスメントの意義と方法を考える

● **ワークショップA「子どもと家族の領域での支援に取り組む方々のために」**

事例提供者：塩田 規子（児童養護施設房総双葉学園 総括主任）

コーディネーター：北川 清一（本学教授）

ワークショップAでは、「性虐待」を主訴として児童養護施設で暮らす子どもと家族への介入方法を学びます。児童相談所から入所依頼を受ける際に児童養護施設が受け取る「児童票」の読み込みから始めます。施設のソーシャルワーカーとして、あるいは、施設として共有してみたいアセスメントの方法を検討し、支援計画を立てるまでの過程を体験してみたいと考えています。

● **ワークショップB「高齢者の領域での支援に取り組む方々のために」**

事例提供者：青木 明子（養護老人ホーム敬愛の園 主任生活相談員）

コーディネーター：杉山 佳子（本学教授）

高齢者のニーズが複雑かつ多様になっている現状に対し、ソーシャルワーカーのアセスメントはどのように行われているのか、事例提供者の発表と参加者の実践を通して考察します。そしてよりクライアントのニーズを明確に捉え、支援計画がたてやすいアセスメント項目はどのようなものかを、グループ討議の中で見出し、提案したいと思います。皆様の御参加をお待ちしています。

● **ワークショップC「障害者の領域での支援に取り組む方々のために」**

事例提供者：小林 克己（神奈川県発達障害支援センター（県立中井やまゆり園） 主査）

相沢 美樹（グループホーム・ケアホームウイズ 管理者）

コーディネーター：久保 美紀（本学教授）

知的障害のある人の支援活動におけるアセスメントは、ソーシャルワーカーとして、どのようにとらえて実践していくべきでしょうか。ワークショップCでは、発達障害支援センターの相談職とグループホームの管理者より事例提供を受け、それぞれの事例におけるアセスメント項目を検討することを通して、参加者が日々の実践の振り返りやアセスメントの本質、枠組みを導き出すことを試みます。

● **ワークショップD「医療機関での実習指導者の方々のために」**

ファシリテーター：村崎 美和（北里大学北里研究所病院 ソーシャルワーカー）

コーディネーター：大瀧 敦子（本学教授）

ワークショップDは、医療機関で社会福祉士実習の指導を担当されている方々に向けてのものです。これまでの指導経験から感じる困難点を振り返ると同時に、自身の指導スタイルや実習現場、そして指導対象の学生を「アセスメント」することを体験していただきます。実習の中で何が、どのように教育可能であるのか、各実習現場の実態に合わせたスタイルの構築に向けての第一歩を考えます。

◆◆◆・・・開催要項・・・◆◆◆

1) 開催日時 2008年11月15日（土）

①基調講演 10:00～12:00 ②ワークショップ 13:00～17:00

2) 会場 明治学院大学 白金キャンパス（東京都港区白金台1-2-37）

3) 対象と定員

対象は、原則として、現在社会福祉の諸領域にて実践活動を行っている方です。

ワークショップの定員は、各20名です。

研修会定員は計80名です（先着順）。

基調講演オープン参加は、関心のある方なら、どなたでも参加できます。

研修会定員とは別に、定員50名先着順にて受け付けます。

4) 参加費

・研修会（基調講演とワークショップ）：3,000円

申込受付後、振込用紙を送付しますので、事前にお振り込みください。

参加費振込後の返金には応じられませんのでご了承ください。

・基調講演オープン参加：1,000円 当日受付にてお支払いください（申込要）。

5) 申込方法 申込受付開始：2008年9月16日（火）より

・研修会：参加希望のワークショップを1つ選び、申込用紙の所定事項を記入の上FAX・Eメールにて、当所へお送りください。折り返し、振込用紙を送ります。参加費入金確認後、受講票を送ります。定員になり次第締め切ります。

振込控えが領収証となります。改めの領収証発行はできません。ご了承ください。

・基調講演オープン参加：TEL・FAX・Eメールにて当所へ直接お申し込みください。

◆詳細・申込先◆ **明治学院大学社会学部付属研究所**

〒108-8636 東京都港区白金台1-2-37 Eメール issw@soc.meijigakuin.ac.jp

TEL 03-5421-5204・5205 FAX 03-5421-5205

＜明治学院大学 白金キャンパスへの交通＞

東京メトロ南北線・都営地下鉄三田線「白金台駅」「白金高輪駅」、都営地下鉄浅草線「高輪台駅」より徒歩約7分

J R・京浜急行「品川駅」高輪口下車、都バス「目黒駅」行で「明治学院前」下車

J R・東急「目黒駅」東口（ロータリー側）下車、都バス「大井競馬場」行で「明治学院前」下車



2008年度 第22回社会福祉実践家のための臨床理論・技術研修会 申込書

■氏名（フリガナ）

■明治学院大学卒業生の場合
（西暦） 年度 卒業

■所属先

■所属先における職名

■社会福祉実践家としての経験年数
年

■資格（おもちの資格に○をつけるか、おもちの資格名を、その他（ ）にご記入ください）

社会福祉士 精神保健福祉士 介護支援専門員 介護福祉士 保育士 その他（ ）

■所属先住所 〒

TEL

FAX

Eメール

■自宅住所 〒

TEL

FAX

Eメール

◆参加希望のワークショップ？ → A B C D （必ず○を付けてください）

◆振込用紙・受講票の発送先？ → 所属先 自宅 （どちらか選択してください）

※ 個人情報の取扱いについて：明治学院大学社会学部付属研究所では、申込時における個人情報について「学校法人明治学院個人情報保護方針」に副って厳重に管理いたします。これらの個人情報は、明治学院大学社会学部付属研究所の「社会福祉実践家のための臨床理論・技術研修会」ご案内用としてのみ利用いたします。第三者には提供いたしません。